

## 学 識 経 験 者 の 意 見

名古屋芸術大学人間発達学部講師 伊藤孝照

### 1 教育委員会の活動状況について

蟹江町の政策方針の下、教育委員会議や学校訪問をはじめとする活動や事業が適正・着実に実施されていることは高く評価できる。できれば昨年も述べたが、事務局の点検・評価として成果や課題が記されているとよい。

### 2 教育課の事業について

学校経営について、校長の学校方針に基づいた学校経営が自己評価をしながら行われ、学習指導要領による教育課程が適切に実施されていることは、評価に値することである。できれば、自己評価によって明らかになった問題点とその分析、改善策が明記されていると次年度につながると思う。

各学校に委嘱された事業・研究は、将来の生き方や働くことの意義等を学びキャリア教育の充実を図る上で大変意義がある。ただ、どのような成果があったのか具体的に述べられていると分かりやすい。

教育課程の実施状況では、標準時間数を確保し適切に実施されているが、学習の成果と課題を明らかにするとよい。

特別支援教育について、適切できめ細かい特別支援教育体制がとられている。通級学級における特別支援や通常学級でスクールサポーター、学校支援ボランティアを導入した支援等が行われ成果が上がっている。

次に生徒指導に関して、いじめや不登校、暴力行為等の問題に対して、学校が教育委員会や関係機関との連携・協力をすることによって問題の早期発見・早期対応に努力していることは素晴らしいことである。しかし、不登校が若干増加傾向にあることと中学校における対教師暴力や生徒間暴力、器物破損が数値として挙がってきているので今後も継続して連携・協力した指導を望みたい。なんといっても生徒指導で最も大切なことは、児童・生徒が学校の学習（授業）に満足しているか、授業中や部活動等で存在感を持っているかということである。課題について校内研修を徹底的に行うことが大切である。そして、各教師が明日の授業の教材研究をしっかりと生徒が満足する授業を行うとともに、校内研修で授業力を高め合うことで問題行動や不登校は徐々に解消していくと思う。

### 3 生涯学習課の事業について

生涯学習に関わる多くの事業や活動が企画運営されていることは、素晴らしいことである。その中で、家庭教育講座の充実を望みたい。理由は、若い親が、家庭教育について学ぶ場ができるだけ多く設定されるとよいと思うからである。今後も、多くの参加を呼びかけてほしい。

図書館については、設備が充実し本に親しむための様々な活動が行われていることは、素晴らしいことである。特に、お話の会での読み聞かせは子どもたちにとって有意義なものであると思う。できれば、学校ごとのボランティアの読み聞かせの会ができて（図書館からの出張でもよい）、盛んになるとよいと思う。